

# 会議名 第11回教育委員会定例会議事要録

詳細 教育委員会教育総務課 電話03-3981-1141

附属機関又は 会議体の名称		教育委員会定例会
事務局(担当課)		教育委員会教育総務課
開催日時		平成18年11月14日 午後2時00分
開催場所		教育委員会室
出席者	委員	中島 章皓(委員長)、月岡 透(委員長職務代理者)、 松木 正一、三神 和子、日高 芳一(教育長)
	その他	教育委員会事務局次長、教育委員会教育総務課長、 学校運営課長、教育改革推進課長、教育指導課長、 中央図書館長
	事務局	教育委員会教育総務課庶務係長、教育委員会教育総務課庶務係 主査
公開の可否		公開 傍聴人数 0人
非公開・一部公開の 場合は、その理由		
会議次第		<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 第36号議案 豊島区教育委員会の権限に属する事務の補助 執行に関する規則の一部改正について</li> <li>2. 報告事項 平成19年度隣接校選択制希望申請集計結果</li> <li>3. 報告事項 平成18年度豊島区教育委員会「名人先生」奨励 事業について</li> <li>4. 報告事項 豊島区教育ビジョン策定の検討状況について</li> <li>5. その他</li> </ol>

## 審議経過

委員長)

第11回教育委員会定例会を始めます。本日の署名は三神委員と松木委員にお願いいたします。本日、統括指導主事は出張しています。

### (1) 第36号議案 豊島区教育委員会の権限に属する事務の補助執行に関する規則の一部改正について

<教育総務課長 資料説明>

委員長)

ご意見をお願いします。よろしいでしょうか。

(委員全員 意義なし)

### (2) 報告事項第1号 平成19年度隣接校選択制希望申請集計結果

<教育総務課長 資料説明>

委員長)

ご意見、ご質問をお願いします。

委員)

希望申請内訳を見ると小学校・中学校とも特定の学校から特定の学校へ行っているところがありますが、理由はわかりますか。

教育総務課長)

駒込小から仰高小への動きは、駒込小の学区域内に大規模な新築マンションが建ち、そこは仰高小が近いので多くが仰高小を希望したものと思われます。池袋第三小は例年、立教大学を回りこまなければならない地域は要小へ、目白に近い地域は目白小を希望する傾向があります。

委員)

区外からの希望についての対応を説明してください。

教育総務課長)

12月4日の隣接校選択制の抽選終了後、12月下旬から区域外就学ということで隣接区からの申請の受付を始めます。

委員)

目白小や千登世橋中は抽選の結果、区内在住の子どもからも落選者が出る中、区外の子どもの入学させて不平不満がでませんか。

教育総務課)

原則的には抽選を実施した学校は区域外就学を受け付けません。

委員長)

豊島区から他区へ行くこともありますか。

教育総務課長)

文京区が一番多く、北区、板橋区などを希望しているようです。

委員)

隣接校選択制度の学校選択理由(中学校)では、「指定校の荒廃」がゼロで、荒廃しているとは思われていない。しかし「評判を聞いて」も少ない。良くも悪くも思われていないということでしょうか。

教育総務課長)

これは自由に選択理由を記入してもらい、まとめたものです。中には「評判を聞いて」学校を希望した方もいたかもしれませんが、「友人関係」が優先するというので、そちらを選択理由としてあげていることも考えられます。

委員)

学校の見学というのはどのように行っているのでしょうか。

教育総務課長)

全学齢児童に隣接校選択申請書を郵送した際に学校参観週間の一覧表を同封しました。全部の学校で学校参観週間を10月に実施しました。希望する方はその間に学校を見学してもらおうようになっています。

委員)

「ホームページを見て」というのも少ないですね。

教育総務課長)

魅力のあるホームページを作成し、アクセスを増やすよう努めたいと思います。

委員)

教員はなかなかホームページを作る時間がないので、得意な人が学校を巡回してホームページ作成を手伝う仕組みを作って欲しいと思います。

教育総務課長)

検討します。

委員)

ホームページが新しく充実していると最新の学校というイメージを持たれると思います。

委員)

特色ある学校づくりのために校長裁量の予算を増やして欲しいと思います。

学校運営課長)

学校配布予算を一度に全額学校に渡すのは難しいので、段階的に渡すことを検討中です。校長から需用費と備品購入費の枠をはずして自由に使えれば便利だとよく言われるので、そういうところから始めたいと思います。

委員)

校長のリーダーシップが問われるし、目が届かなくなり経理の不正も心配ですが、問題

点を整理しつつ進めて欲しいと思います。

委員長)

他はよろしいでしょうか。

(委員全員 報告事項了承)

(3) 報告事項第2号 平成18年度豊島区教育委員会「名人先生」奨励事業について

<教育指導課長 資料説明>

委員長)

ホームページで動画を掲載するなど積極的に宣伝すると思います。

委員)

公開授業に他の教員がどのくらい出席しているか、それをどのように活かしたか知りたいです。

教育指導課長)

17年度の「名人先生」の活動状況をまとめて、後日報告します。

委員)

公開授業は初任者、2・3・4年次教諭の研修として行うのでしょうか。

教育指導課長)

研修のときに講師として授業をしてもらいます。他の教員にも知らせていますが、実際には研修の対象ではない教員の参加は少ないです。

委員)

同じ科目の同じところを教えている教員に見てもらって、どこがいいのか、こちらをどうして選んだのかという話し合いまですると思います。

教育指導課長)

研究授業の場合も全部の学校に知らせて、研修の対象になる教員の他にも希望者は見に行ってくださいというシステムにしていますが、自分の授業を他の先生に頼んで行くというのは難しいのだと思います。

委員)

名人先生に選ばれた教員の負担も大きいので、研修として効果が上がるように参加しやすくする工夫も必要だと思います。

委員長)

ほかはよろしいでしょうか。

(委員全員 報告事項了承)

(4) 報告事項第3号 豊島区教育ビジョン策定の検討状況について

<教育改革推進課長 資料説明>

委員長)

質問等いかがでしょうか。

委員)

近年の教育をめぐる状況として、子どもたちの体力低下も取り上げてください。とても深刻だと思います。また、創造力を高めるためには基礎的な知識、学力は不可分なものだという言い方をしてほしいと思います。

教育改革推進課長)

基本的な考え方に今いただいたご意見を入れてまとめたいと思います。体力の低下については新たな事業も行い、重点的に取り組んでいきたいと考えています。

委員)

現実の子どもたちの問題をどのように解決していくのか、規範意識を身につけさせるとか、子どもたちに厳しい体験をさせるとか、そういうものがはっきり見えてきません。重点的、具体的に出してほしいと思います。目指す子ども像の「夢に向かって」は、おとなの考えであって、子どもは今現在を考えて未来を切り拓いていくのですから、このことはなくてもいいと思います。

委員長)

力強い精神力というのでも欲しいです。

教育改革推進課長)

教育課題検討推進会でも同様の意見が出され、直接ではありませんが力強い精神力という意味も含めて「自他を認め合い、思いやりのある心豊かな子ども」「健康でたくましく生きる子ども」と表現しました。

委員)

意味はよくわかります。しかし、以前からよく言われてきたことで、迫力がないと思います。もっと焦点を絞って具体的に書いた方がいいと思います。

委員)

目指す学校像の「子どもが学んでよかった学校」とは、いつ思われることを想定していますか。また、「自他を認め合い」とはどのような意味で使っていますか。アメリカやオーストラリアでは、お互いを認め合ったあと近づいていかず孤立している、いろいろな人種が孤立しているという状況になっています。それを打開しようとしているところです。そのようになってしまう可能性があるのが「自他を認め合い」なのです。違うものは違うとして近寄っていかないという意味で使っているのでしょうか。お互い違うものをどうしていくのか、相手を尊重、尊敬しというところまで目指すのか考えてほしいと思います。このままだと孤立社会になってしまいます。

教育改革推進課長)

目指す学校像としては、現在も未来も学んでよかったと思われる学校を目指したいを考えています。「自他を認め合い」ということばは、お互いに尊重し合い、仲良く、違いを認めながら共同体として生きていくという意味だと考えています。

委員)

今は、違うことは個性だといいいながら孤立している子どもが多く、努力もしないことに繋がっていると思います。ことばの意味を狭めてきちんと定義した方がいいと思います。学校の評価は、学んでいるときと卒業してしばらく経ってからでは違うと思います。

委員)

ことばがうまくかみ合っていないように感じます。意図はわかりますが、漠然としていてインパクトがないように思うので、ことばをもっと具体的にした方がいいと思います。教育改革推進課長)

「目指す教師像」「目指す学校像」について再度検討します。「目指す子ども像」は練りに練ったつもりですが、こちらもいただいたご意見を反映させて再度検討します。

委員)

いろいろな意見が出されるので、ふわっとした表現になってしまうのだと思います。本音の子ども像、学校像を下敷きにすればもう少し違った表現になるのではないのでしょうか。

委員)

目指す教師像と学校像は別のものなののでしょうか。また、教師、学校、地域が並列になっている意味がよくわかりません。

教育改革推進課長)

目指す子ども像を実現させるための教師像、学校像、地域像と捉えています。

委員)

学校と教師は一体ではないのでしょうか。

教育改革推進課長)

一体だと考えていますが、学校は施設や組織、教師は個人として目指すものをまとめました。

教育指導課長)

ひとりの教師の個性で子どもが育つこともあります。非常に個性的な教員の魅力に薫陶を受けて将来の夢を見つけることもあると思います。一方、平均的な教師像としても子どもが楽しかったと思えるような授業をできるような教師であってほしいと思います。そのトータルとして教員、その他の職員が集まった学校があるのだと思います。子どもに接する者として教師像、トータルとしての学校像を示す必要があると思います。さらに、現在、学校の力だけで子どもたちを支えるのはとても難しい状況になっています。安全対策も学校だけでは不可能です。どのように地域に支えてもらうのかを示す必要があるとの考えから目指す地域像をまとめました。このような思いを込めて、教師像、学校像、地域像を図式化しました。

委員長)

さらに検討するというので、よろしいでしょうか。

(委員全員 報告事項了承)

( 5 ) その他

いじめ自殺予告についての対応

( 午後 4 時 3 0 分 閉会 )